

授業と評価の年間計画

教科	数学	科目	数学探究 A	
履修条件 対象生徒	必修 普通科(文型) 3年			
学習目標	数学 I、数学 A の内容について繰り返し演習を行うことによって、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、センター試験の問題に対応できる能力を身に付ける。			
学習方法	<p>【授業、家庭、補習・その他】</p> <p>授業に対し、その場しのぎの取り組みしかできない者に真の力はつかない。予習→授業→復習のリズムを確立すること。</p> <p>毎日の学習において鉛筆を持ち、実際に計算をして答えを粘り強く最後まで求める実践的な練習をすること。2次試験の問題では、1問に1時間以上かけることもよくあることである。</p> <p>数学の解法は一通りではない。先生の助言や参考書・模試などを活用し、理解を深めようとする姿勢を大切にすること。</p>			
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1)中間考査、期末考査まで ア センター試験対策 (ア)ニューステージ I・A+II・B	<ul style="list-style-type: none"> 各分野の基礎・基本を繰り返し演習することによって、センター試験や2次試験に対応できる知識の定着を図る。 		
	2 2学期 (1)中間考査、期末考査まで ア センター試験対策 (ア)進研[センター試験] 重要問題演習 (イ)進研[センター試験] 直前演習	<ul style="list-style-type: none"> センター試験に頻出するタイプの問題を繰り返し演習することによって、基礎から応用まで確実な実力の定着を図る。 各分野のマークシート方式の問題が限られた時間の中で解くことができ、理解できるようにする。 		
	3 3学期 (1)学年末まで ア センター試験対策 (ア)進研[センター試験] 直前演習	<ul style="list-style-type: none"> 各分野のマークシート方式の問題が限られた時間の中で解くことができ、理解できるようにする。 		
評価規準	知識・理解	技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けることができる。	思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けることができる。	学習する内容に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。
評価方法	定期考査、授業態度、課題・提出物を総合的に判断して評価する。			
その他	講座編成の授業を行う場合もある。			